



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



平成30年9月11日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦勞や悩みを話して、思いを共有する場となっております。

交流会に参加することにより、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深めたり、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度第2回目の交流会を開催したところ、10名の方が参加してくださいました。この家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチームセタの代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族交流会に参加された動機や、家族及び当事者・支援者が最近感じていること」をテーマに、それぞれの立場で日頃抱えている思いを自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会の中では、家族だけで抱え込むのではなく、第三者との接点や交流の機会を持つことが当事者のひきこもりを防ぐことや、本人のできることが広がる可能性に繋がるというお話があったほか、同じ障害を持つ当事者が集まれる場があると良いなどの意見が出されました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

家族交流会も回を重ねてきたことで、どんな支援者にもお話やアドバイスができるくらい家族として成熟してきている方がいらっしやることを心強く感じます。

本人への接し方など、一番難しさを感じているのは身近にいる家族です。家族自身の悩みや思いを支援者が理解して関わってほしいと思います。

まずは家族自身の人生を大事にして、日々健康に過ごしていきましょう。



いろいろな人と繋がることで本人を閉じこもりにさせないようにしていきたい。



忘れていた当時の気持ちを思い出せたので参加して良かった。

障害ひとくくりで見えてしまうけど、一人一人違うと感じた。

これまでの参加者の声

次回の交流会も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）